

コープで
広がる、
つながる

ピースアクションinオキナワに参加しました



3月25日～27日、全国の生協から組合員が集い「ピースアクションinオキナワ 第43回沖繩戦跡・基地めぐり」が開催されました。沖縄県生協連と日本生協連が主催し、沖縄戦の実相と現在の基地問題を学び、平和について考える機会として毎年継続している活動です。とちぎコープからは、小中学生を含む4組8名の組合員と理事・職員を合わせた計11名が参加しました。

1日目の全体会では、沖縄戦を題材にした演劇を鑑賞。続く平和講話では、戦場での実体験を伝えられる最後の世代である玉木枝子さんより、貴重なお話を伺いました。夕食懇親会では、琉球舞踊など沖縄の伝統文化に触れながら交流を深めました。

2日目・3日目は、親子中心コースのフィールドワークに参加しました。平和ガイドの案内で、首里城・ひめゆり平和祈念資料館・山城（やましろ）本部隊・魂魄（こんぱく）の塔・対馬丸（つしままる）記念館・嘉数（かかず）高台をめぐり、各地で学びを深める3日間になりました。

▼特設サイトでプログラムの一部を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://peace.jccu.coop/okinawa/>

理事会・監事会だより

第11回理事会

2026年4月10日(金)
理事20名中20名出席 監事5名中5名出席

議決事項

- 新本部の施工業者選定と建築費用及び設計費用について
- 2026年役員改選における全体区分理事及び監事候補者について
- 組合員理事報酬の見直し及び関連細則の改定について
- 2026年度役員報酬枠について
- 第38回通常総代会選挙区及び総定数について
- 2025年度末「自由脱退(みなし脱退)」処理について
- 2026年度コープデリ連合会「会員基本契約覚書別表」の改定について
- コープデリ連合会第35回通常総会「会員区分理事候補者」及び「代議員候補者」の選出について
- 栃木県生協連第57回通常総会「役員候補者」及び「代議員候補者」の選出について

報告事項

- 役員人事委員会報告及び役員人事委員会答申について
- 3月度活動報告・連帯活動報告
- 3月定例理事会での各部活動計画へのご意見と各部での対応の報告
- コープデリ連合会第6回理事会報告
- コープデリ商品政策の一部改定の件
- コープデリグループのSDGs重点課題の改定の件
- 2025年度区域外組合員加入者について
- 2026年度とちぎコープNPO法人助成に関する報告
- 2026年度EMS目標について
- とちぎコープ2025年度の内部統制の整備状況

- 2025年度内部監査報告及び2026年度内部監査計画
- とちぎコープ経営組織図について
- 規程類の改定について
- 組合員活動協議会報告
- 栃木県生協連月例報告

第11回監事会

2026年4月10日(金)
監事5名中5名出席

主な協議・報告事項

- 第11回定例理事会の意思決定について審議しました。
- 2025年度期中監査結果について審議しました。
- 監事申し合わせの改定について審議し、決定しました。
- 2025年度年度監査報告書、監事会活動概要について審議しました。
- 2025年度監事監査活動報告、2025年度監事監査所見、2026年度監事監査活動方針と計画について協議しました。
- 第37回通常総代会での監事選任議案の手続について審議確認しました。
- 2025年度期末監査について審議しました。
- 2025年度内部統制評価について審議しました。
- 2026年度監事往査事業所・日程について審議しました。

3月度決算 (2026年2月21日～3月20日)

組合員数	288,178人	(前月差623人減少)
出資金総額	88億5,959万円	(平均3万743円)
総事業高	23億1,873万円	(予算比102.8%)
宅配	18億1,199万円	(予算比102.7%)
店舗	4億8,304万円	(予算比102.6%)
経常剰余金	-2,657万円	(予算比67.9%)

リサイクル 3月の回収量

前年の同月に対して 増加 ↑ 減少 ↓

飲料用の紙パック	ペットボトル	たまごパック	食品トレー・容器	アルミ缶	商品カタログ	商品やカタログ お届け用ポリ袋
7,372kg ↑	3,708kg ↑	1,007kg ↓	871kg ↓	747kg ↑	161,761kg ↓	1,908kg ↓

◆ピースアクション 振り返りミーティング

沖縄から戻って数日後、
体験を通じて感じたことを
語り合う報告会を開催しました。
参加者の声を紹介します。

● 当時10歳だった玉木さんが経験した沖縄戦の真実。あてのない逃避行や家族を亡くした悲しみが伝わってきた。体験を語ってくださることは本当にありがたい。でも話せるようになるまでの苦しみを思うと…。辛かったと思う。

● 対馬丸記念館では、ぼくと同じ子どもたち約750人のうち、59人しか生き残れなかったと知り、戦争の恐ろしさが伝わってきました。

● 現在の米軍基地が広がる光景を目の当たりにし、沖縄が今なお抱えている複雑な課題は、決して「過去の話」ではなく「現在進行形」であると強く感じました。

● 情報化社会の中、さまざまなことを知識として容易に知ることはできるが、自らが体験し受け止め、考え続けることが大切だと感じました。今回の経験で感じた戦争の悲惨さや平和の尊さを忘れず、自分にできることを探し続けていきたいです。



過去に学び、
未来へつなぐ

平和とよりよい生活のために